

社団日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

<p>代表者氏名 (ふりがな)</p>	<p>熊田孝恒 (くまだたかつね)</p>	<p>所属</p>	<p>産業技術総合研究所</p>
<p>研究集会等名称</p>	<p>技術心理学研究会</p>		
<p>成果概要</p>	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 15名 (うち認定心理士 1名) 非会員 20名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、実験心理学や基礎系心理学が、世の中にどのように役立つのかを、具体的に議論しようという主旨のもとに発足した。実際に実験心理学などの基礎的な心理学の知識や技術が実社会でどのように用いられてきたのかを、現場のフィールドで活躍されている方々のお話を伺い、あるいは、実社会での貢献を目指した心理学者の取り組みを紹介し、それらに基づいて、今後の発展の方向性を探る。研究会の活動として、今後、年2回の研究会の開催を予定している。</p> <p>2010年度は下記に示した2回の定例研究会(第3,4回)を開催した。定例研究会の開催案内は、Webページ (http://techpsy.jp)、他学会のMLで配信し、広く参加者を募った。</p> <p>1. 技術心理学研究会 第3回研究会 (参加者25名程度) 日時：8月7日(土) 土曜日午後14時～17時 場所：立教大学池袋キャンパス太刀川記念館 3階会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別講演 池田岳郎 先生 (味の素株式会社 生産技術開発センター ITグループ) 「食品開発における心理学的技法の応用 感性工学の適用事例紹介」 ・一般演題 <p>2. 技術心理学支援・促進研究会第4研究会 (参加者25名程度) 日時：2011年1月22日(土) 14:00～17:00 場所：中京大学 (八事キャンパス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別講演：交通社会の諸問題を解決するための心理学の技法と役割 一予防安全に関わる研究を通して一 (大谷亮 (おおたにあきら) 先生 ((財)日本自動車研究所 安全研究部)) ・一般演題 		